

子宮頸がん

平成23年1月17日～

中学校1年生から高校1年生相当の女子を対象に
子宮頸がん予防ワクチンが

無料化になりました

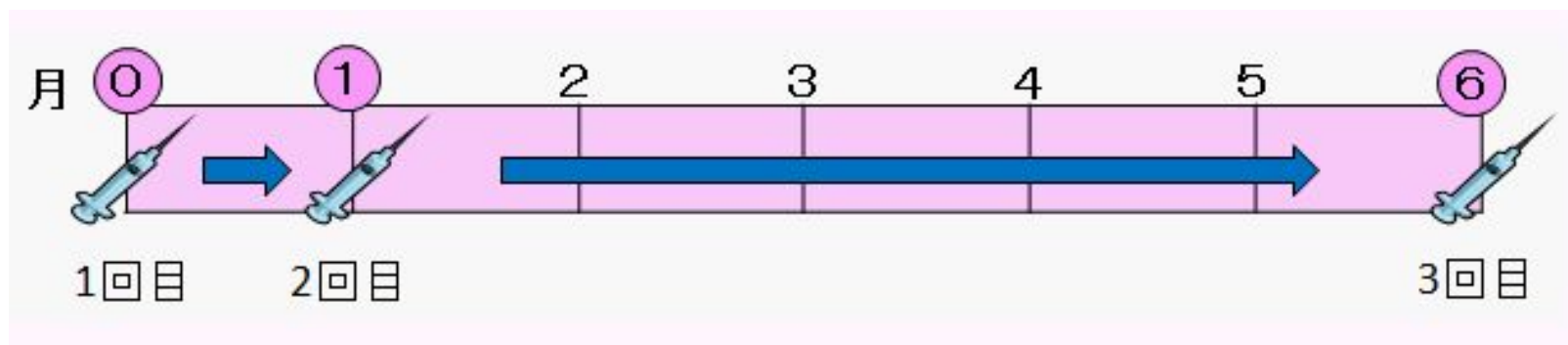
接種ご希望の方は、受付にてご予約ください



子宮頸がん予防 ワクチンについて



子宮頸がん予防ワクチンは 半年間に3回接種します



初回接種、初回接種から1ヶ月後、初回接種から6ヶ月後の
合計3回の接種が必要です。



助成対象者は **無料** で 接種することができます



**助成対象者：広島市にお住まいの中学校1年生から
高校1年生に相当する年齢の女子**

平成22年度：平成6年4月2日～平成10年4月1日生まれの女子
平成23年度：


- ・平成7年4月2日～平成11年4月1日生まれの女子
- ・平成6年4月2日～平成7年4月1日生まれの女子で、
平成22年度中に1回以上の接種を受けた者

実施期間：平成23年1月17日～平成24年3月31日（予定）

ただし、平成22年度中（平成23年1月11日～3月31日の間）に高校1年生相当で1回目又は2回目の接種を行った者又は明らかな発熱又は急性の疾患にかかっていることにより接種を行えなかった者は、平成23年度に（高校2年生相当の年齢であっても）残りの接種を行うことができる。



子宮頸がんは、20～30代の 若い女性に急増！



子宮頸がんは、妊娠や出産の可能性を脅かし、
尊い命を奪うがんです。若い時からきちんと検診を受
けましょう。

子宮頸がん予防ワクチンを接種することで、
感染をほぼ防ぐことができます。



接種後の症状について

ワクチンを接種した後は、注射した部分が痛むことがあります。注射した部分の痛みや腫れは、体内でウイルス感染に対して防御する仕組みが働くために起こります。通常数日間程度で治ります。

主な副反応

頻度10%以上 : かゆみ、注射部位の痛み・赤み・腫れ・
胃腸症状(吐き気、嘔吐、下痢、腹痛など)、
筋肉の痛み、関節の痛み、頭痛、疲労

頻度1~10%未満 : 発疹、じんましん、注射部位のしこり、
めまい、発熱、上気道感染

頻度0.1~1%未満 : 注射部位のピリピリ感/ムズムズ感

頻度不明 : 失神、血管迷走神経発作(息苦しい、息切れ、
動悸、気を失うなど)



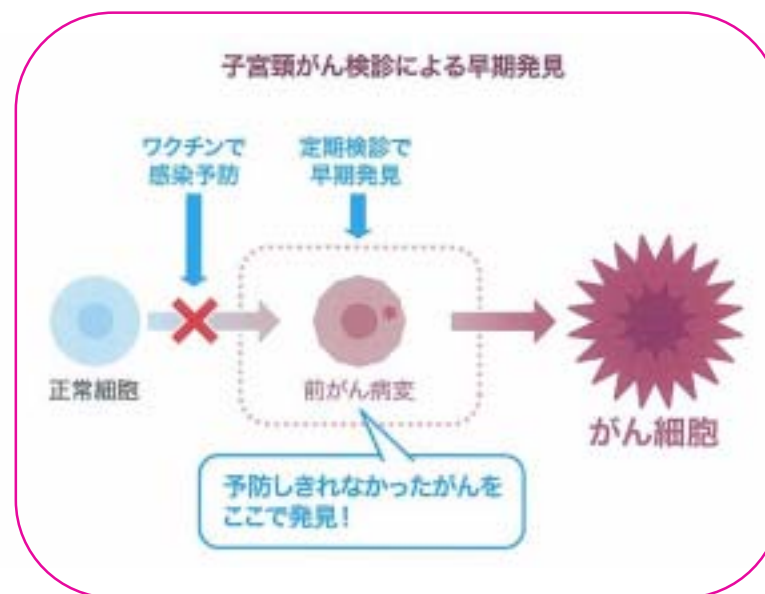
重い副反応として、まれに、
アナフィラキシー様症状(血管浮腫・
じんましん・呼吸困難など)
があらわれることがあります。

子宮頸がんは、ワクチンの接種と定期的な検診で予防することができるがんです。

子宮頸がん予防ワクチンは、HPV 16型、18型の2つの発がん性HPVの感染を防ぐことができます。しかし、全ての型の発がん性HPVの感染防ぐものではありません。

また、接種前に発症している子宮頸がんや前がん病変の進行をワクチンによって遅らせたり、治すことはできません。

これらの異常を見逃さないために、ワクチンを接種した後も定期的な子宮頸がん検診の受診が必要です。

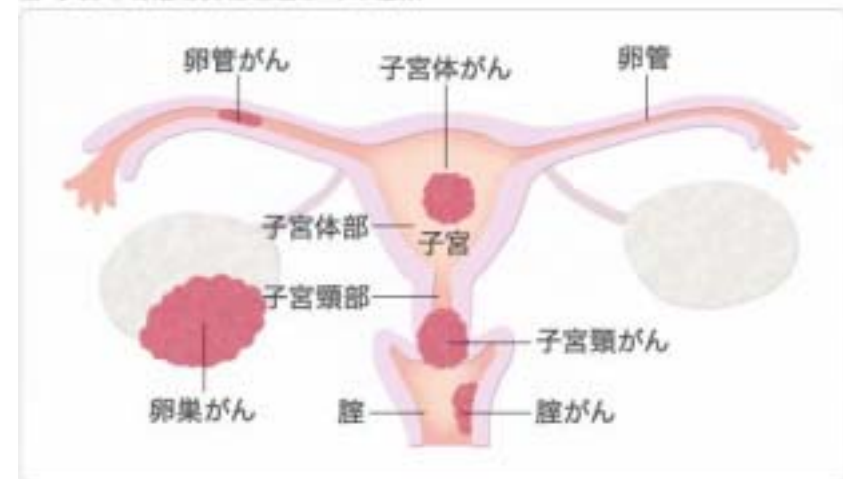


子宮頸がんとは？

子宮は、女性にしかない特別な臓器のひとつです。
この子宮の入り口付近、「子宮頸部（しきゅうけいぶ）」
にできるがんを、「**子宮頸がん（しきゅうけいがん）**」とい
います。

子宮頸がんは原因やがんになる過程がほぼ解明されている、**予防ができるがん**です。また、定期的に検診を受けることで、がんになる前に発見し、子宮を失わずに治療することが可能です。

図：子宮の構造と女性性器がんの種類



A

& Q

ワクチンを接種すれば一生
子宮頸がんにならないの？

子宮頸がん予防ワクチンは、子宮頸がんの原因となりやすいHPV 16型とHPV 18型のウイルスに対する免疫をつくらせるものです。

したがってこのワクチンを接種することでHPV 16型とHPV 18型の感染を防ぐことができますが、全ての発がん性HPVの感染を防ぐことができるわけではありません。

そのため、ワクチンを接種しなかった場合と比べれば可能性はかなり低いものの、ワクチンを接種していても子宮頸がんにかかる可能性はゼロではありません。

またワクチンの効果がどれだけ長く持続するかについては、現在も調査が継続して行われています。現時点でワクチンを接種してから最長で6.4年までは前がん病変を100%予防できることが確認されています。



Q

ウイルスが感染しても、自然に排除されるのであれば、ワクチンを打たなくても、ウイルスに感染することで、免疫が得られるのでは？

&

A

HPVに自然感染するだけでは、十分な免疫は得られません。
だから感染の機会があれば、繰り返しHPVに感染してしまうのです。



Q
&

ワクチンを受けることによって逆にウイルスに感染して、その結果、子宮頸がんになることはないの？

A

このワクチンを接種したために、HPVに感染することはありません。

このワクチンの成分には、ウイルス遺伝子を取り除いた外側の殻だけを人工的に作ったものを使っています。見た目はウイルスにそっくりですが、中は空っぽなので、ワクチンを接種しても子宮頸がんになることはありません。



Q ワクチンは誰でも受けられるの？

A

このワクチンの接種対象は10歳以上の女性です。

(当院では11歳以上を対象に行っています。)

ただし下記に該当する場合は接種ができません。

- (1) 明らかに発熱がある
- (2) 重篤な急性疾患にかかっている
- (3) このワクチンの成分に対して過敏症を示したことがある
- (4) 先生がワクチンを接種すべきではないと判断された場合

また、妊婦又は妊娠している可能性のある女性の接種は妊娠終了まで延期する、また接種期間の途中で妊娠した際には、その後の接種は見合わせるものとされています。

